

令和4年度重要生態系監視地域モニタリング推進事業(モニタリングサイト 1000)里地調査

生物多様性センター

愛媛県生物多様性センターでは、環境省が全国規模で基礎的環境情報の収集と長期生態系観測を行う重要生態系監視地域モニタリング推進事業(モニタリングサイト

1000)里地調査において、四国地区重要監視地点(コアサイト)となっている東温市上林地区における水質調査を、平成20年度から実施している。

令和4年度も引き続き、拝志川流域の5地点(河川4、ため池1)で4月20日、6月24日、8月26日、10月19日、12月20日の計5回調査を実施した。結果は以下のとおりである。

なお、当調査は令和4年12月をもって終了した。

令和4年度モニタリングサイト1000里地調査(水質調査)結果※

調査項目	4月	6月	8月	10月	12月
水温(℃)	11.9	20.4	19.7	13.9	5.4
	16.0	27.6	28.1	19.2	8.4
水位(cm)	22.3	14.5	19.0	24.3	22.5
	580	582	560	600	580
水色	—	—	—	—	—
	16	19	21	21	19
透明度	98.8	95.0	95.0	100.0	100.0
	100.0	100.0	90.0	95.0	100.0
pH	7.0	7.2	7.2	7.1	7.0
	6.8	7.6	7.4	6.8	7.0

※上段は河川4地点の平均値、下段はため池1地点の値

調査方法は、「モニタリングサイト1000里地調査マニュアル」(環境省・(財)日本自然保護協会)による。

令和4年度特定希少野生動植物保護区巡回調査

生物多様性センター

愛媛県野生動植物の多様性の保全に関する条例により、特に保護を図る必要がある23種が「特定希少野生動植物」として指定されている。中でも、生息地が限られ保護の必要な6区域が「特定希少野生動植物保護区」として指定されており、定期的な巡回を行うとともに生息・生育状況の調査及び保護区の管理を行った。

1 片上地区アキサンショウウオ保護区

5月12日、卵囊14個及び幼生を複数頭確認。5月15日幼生を複数頭確認。6月1日に幼生は確認できなかった。7月12日時点で、降雨による土砂の堆積が進んだが、1月14日に土砂の除去が行われた。1月17日に成体を1頭確認後、3月16日には卵囊が5個確認できた。

2 宅間地区アキサンショウウオ保護区

4月12日、卵囊及び幼生を複数確認。5月15日の集落水路清掃時に幼生213頭を確認。6月1日、7月12日に幼生を複数頭確認した。幼生は例年この時期までに保護区の水場から山林へ移動している。7月以降、降雨による土砂の堆積が見られたが、水深が20cm程度に保

たれており、土砂の除去が行われなかった。2月17日に卵囊が2個、3月11日に卵囊が8個確認できた。

3 台地区ナゴヤダルマガエル保護区

6月15日、10月11日に保護区の状況を確認したが、保護区の開発等はない。なお、ナゴヤダルマガエルの生息は確認できていない。

4 庄内地区ハッチョウトンボ保護区

年間を通じて、湿地状態が維持された。(梅雨明け後、7~8月の降水がない時期は保全団体が灌水を実施)4月下旬から羽化が始まり、保全団体により約1,000頭が確認された。

5 織田ヶ浜地区ハマビシ保護区

5月19日に発芽が確認された。7月12日には雑草が除去された地点で約30株が見られた。8月23日には同一地点で発芽が多数見られ、さらに9月20日、10月11日には株が密集していた。その後11月25日には落葉した株や枯死した株が多く見られたが、12月13日にはほとんどの株が枯死した。

6 織田ヶ浜地区ウンラン保護区

4月12日に出芽した株が多数確認された。6月1日にはハマゴウ、テリハノイバラの生育が旺盛となり、その下でウンランが生育しており、7月12日から8月4日の間は